

ぶら研 「すんくじら」

令和6年度 志和池小 校長室からぶらっと研修 8 7月8日 文責 田爪

県数研大会の御協力ありがとうございました！

先生方の献身的な御協力に感謝、そして感激しています。ありがとうございました。

理解を思考・表現につなげる

全校朝会でも話しましたが、6年生の理科のノートです。どれも大事な言葉(学習内容)はおさえた上で、自分に合った表現をしています。単に板書を写すのではなく、自分で考え表現することで学習内容ももちろん身に付くし、思考する力も育つでしょう。

① 小さいくてうごいているのが
たくさんいた。く虫？
・ほえ長い生き物もいた。
動く物と動かないもの
② 水の中にある目にはみえない
虫のような物を食べている。
エサとして
③ 志和池、池の魚は、水の中に
いる目にはみえない虫のような
ものをエサとして食べて生きて
いる。

結果
・小さい虫のようなもの
(動くもの動かないもの)
考察
・志和池の池の魚は小さな虫の
ようなものを食べている
④ 志和池の池の魚はえさをあた
えなくても水の中にある虫の
ようなものを食べて生活して
いると考えられる。

通知表「あゆみ」の機会を捉えて、ポジティブ行動支援の鉄則、もう一度

◇「当たり前」は最大の敵であることを意識する！

「これくらいできて当たり前」こう考えることによって、たくさんの子どもの素敵な姿が教師によって無視されてしまいます。

◇ 子どもの実態にハードルを合わせて、子どものがんばりを見取る！

先生が思っているハードルを一度、子どもの実態に合わせてセッティングし直してみましょう。
子どものがんばろうとしている姿に出会えるかもしれません。

「ほめること」は「優れていること」や「できたこと」、「できていること」だけではなく、「よくなっていること」「努力していること」にも目を向けると、視野が広がってきます。

目指すは完璧よりも「向上」、小さな進歩を大きく喜ぶ

通知表「あゆみ」の所見の機会を捉えて、より多く「褒め、認め、励ます教育」の実践を進めたいと思います。

【お知らせ】

7月27日(土)は水流神社、29日(月)は科長神社の六月灯です。多くの子どもたちの活躍が活躍することでしょう。

【注意】

お店等の駐車場で接触事故が多いそうです。バックする際に、モニターのみの確認にとどまり直視による確認不足が主な要因のようです。直視による確認を十分行うようにしましょう。